

人口 485,009人 (+482)
 男 235,681人 (+317)
 女 249,328人 (+165)
 世帯数 178,023 (+503)
 住民基本台帳による。()は前月比

平成8年
 6月23日
 第1530号

にいがた



発行日 毎週日曜日 発行新潟市 951 編集 総務部広報課
 学校町通1-602-1 印刷 創第一印刷所

ラムサール条約登録湿地佐潟

全国規模のシンポジウム開催

湿地保全へ情報交換

自然の宝庫・佐潟(赤塚)がラムサール条約登録湿地になったことを記念して、「ラムサールシンポジウム新潟」として、十一月二十八日から三十日までの三日間、本市で開催されることが決まりました。

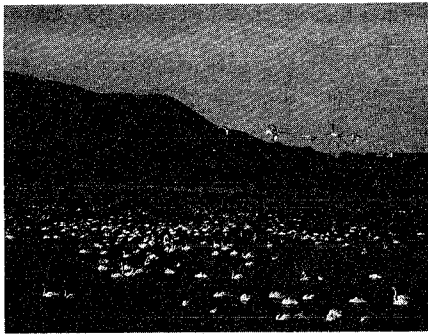
同シンポジウムは、湿地保全にかかわる人々による日本初の全国規模の湿地シンポジウム。環境庁や県、市などの行政とNGO(非政府組織)であるラムサールセンター、地元で活動している新潟の水辺を考慮する会などで「ラムサールシンポジウム新潟実行委員会」を構成し、長谷川市長が委員長を務めるものです。

記名講演会の講師は C・W・ニコル氏

同シンポジウムは、全国各地から湿地保全に関する経験や情報などを持ち寄り、行政と住民、NGOが一体となって相互に議論を展開。これをきっかけに協力し合う土壌をつくらうという目的で行われます。

内容は、研究会や佐潟と鳥屋野潟の現地視察のほか、市民病院 臨時の看護婦を募集

夜勤可能な臨時およびパートの看護婦を募集し、問い合わせ 同病院(☎241・5151)へ



今年3月にラムサール条約登録湿地に認定された佐潟

新潟まつりは 8月7・8・9日

はじめは緊張ぎみだった子どもたちも、最後はニコニコ

して夏休みが一月しかないので、日本の子どもたちには、夏休みをどのように過ごすのか、「制服があるのに驚いた」など率直な質問をしていました。

また、市から記念品を贈り、子どもたちからは、ロシアの民芸品が手渡されました。

一行は、この後マリニピア自然海 県立自然科学館、ロシア村などを見学し、十日に帰国しました。

ハバロフスク少年使節団 新潟の子どもの生活に質問集中



姉妹都市ハバロフスク市の少年少女使節団が、このほど市を来訪訪問しました。これは、一九六五年に市とハバロフスク市が姉妹都市提携を行ったことを契機に、県労働福祉協議会との交流が始まったことから、その一環として六年前から行われているものです。

地域ぐるみで非行防止

犯罪のない、明るい社会をめぐることを目標に、家庭や学校、職場、地域社会が一体となって運動を展開しています。今年には「少年非行防止」として、市で長谷川市長が実施委員長となり、地区保護司

保護司会の 会員を募集

保護司会では、犯罪や非行の防止活動と、更生保護事業活動を充実するため、会員となって保護司会を支援してくれる皆さんを募集しています。詳しくは問い合わせください。

市民病院 臨時の看護婦を募集

夜勤可能な臨時およびパートの看護婦を募集し、問い合わせ 同病院(☎241・5151)へ

「の道一筋」

なんか屋 古木久江さん(78歳、窪田町1) 店を開いてすでに四十年。色とりどりの懐かしいお菓子が並び、子どもたちが次々と訪れます。

「これいくらですか!」 那や中浦原那方面へ。途と、元気な声。次々に訪れる中、子どもたちが引はる小さなお客さんに「それき返したこともあったといは三十円だよ。これは!」と心配してしまふことも。毎日のように、四人 おまけしてあげるんです」

市役所・市教育委員会

☎228-1000 (代表)

| | |
|-------------------|----------|
| テニスガーデンにいがた | 276-8900 |
| 園芸センター | 286-1034 |
| 水道局 | 266-9311 |
| 市民病院 | 241-5151 |
| 保健所 | 243-5311 |
| 石山地区保健センター | 286-4450 |
| 鳥屋野地区保健センター | 285-2373 |
| 北地区保健センター | 259-7332 |
| 西地区保健センター | 262-3405 |
| 坂井地区保健センター | 260-3255 |
| 急患診療(市医師会・県歯科医師会) | |
| 急患診療センター | 228-2822 |
| 休日歯科診療センター | 283-3030 |

蒲原祭・交通規制



市国民税第一期 納期限は7月1日

忘れずに納めましょう。便利な口座振替をご利用ください。問い合わせ 納税課 ☎内線2353番へ